

事務事業名	シティプロモーション推進事業				担当	総務部 情報政策課 シティプロモーション係	
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			増補版施策名		
施策名	4	観光の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成19年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
法令根拠							
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1. 総務管理費	6. 企画費			
事業概要	本市の主な観光資源である木綿・温泉・S.L・夏祭りなどを盛り込んだテレビ番組を制作、放映する。また、本市のイベント等をテレビやラジオ、真岡鐵道ラッピングで事前告知することで、本市を知ってもらい、より多くの人に訪れてもらえるようPRするとともにイメージアップを図る。平成28年度からは、真岡市シティプロモーション冊子の発行や、PR動画や移住者インタビューなどを盛り込んだ冊子運動特設サイトを開設し、首都圏の若い世代をメインターゲットとした情報発信をしている。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 31年度実績 ・真岡鐵道気動車ラッピング ・ペリテンライブ2019情報発信 ・アニメ（もおか「いちご」チアリーダー）の活用 ・移住体験ツアーの実施 2年度計画 ・とちテレアニメフェスタ出展 ・ペリテンライブ2020情報発信 ・真岡鐵道気動車ラッピング ・都内プロモーションイベント、移住相談会の開催 ・移住体験応援事業補助金のPR	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア	「とちぎ発！旅好き」延べ放送時間	h	270	270	270	0	0	
イ	テレビでのイベント告知日数	日	30	30	30	0	0	
ウ	PR映像の本数	本	9	11	11	13	13	
エ	FMとちぎ（ほっとHOTもおか）放送時間	h	520	0	0	0	0	
オ	真岡市PR冊子制作	冊	10,000	5,000	0	10,000	0	
② 道産品産地を対象にしているのか）*人や自然資源等 埼玉、千葉、群馬及び栃木県内の住民	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア	埼玉、千葉、群馬及び栃木県内の人口	人	17,457,042	17,472,108	17,513,558	17,499,741	17,490,000	
イ								
ウ								
エ								
オ								
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 本市の魅力の情報発信し、認知してもらおうとともに訪れてもらう。	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア	PR番組アクセス数	回	38,094	65,400	147,666	173,239	180,000	
イ								
ウ								
エ								
オ								
④ 結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 交流人口が増加し、観光の振興に結びつける。	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア	観光客入り込み数	人	2,912,127	2,990,649	2,957,327	3,177,775	3,100,000	
イ	S.L乗客数	人	36,058	31,952	26,460	30,417	30,000	
ウ								
エ								
オ								
(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	3,500
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	10,049	16,133	13,528	11,805	17,937	
	事業費計(A)	千円	10,049	16,133	13,528	11,805	21,437	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	2	3
		延べ業務時間	時間	1,000	1,200	1,200	1,000	1,200
		人件費計(B)	千円	4,153	4,980	5,003	4,043	4,852
トータルコスト(A)+(B)		千円	14,202	21,113	18,531	15,848	26,289	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成19年度、「観光の振興」が重点施策に位置づけられ、コストをかけても成果を向上させることになり、首都圏等へ向けた情報発信の手段として、テレビ・ラジオを利用し、広範囲にPRすることになった。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> テレビ・ラジオの利用者は減少し、スマートフォンの普及によるインターネットやSNSの利用者数が著しく増加している。また、事業を開始したときと比べて、情報発信ツールの種類が格段と増えている中で、どのツールをどのタイミングで、効果的にどのように利用するかが、訴求者に的確に情報を伝えるためのカギとなる。 平成28年度に「総合戦略推進係」を設置し、首都圏の若い世代をメインターゲットに、積極的に情報発信していくこととなった。 とちテレアップ事業は、全国いちごサミットPRのため、平成30年度で契約終了となった。 平成29年9月、とちぎテレビのアニメキャラクター「まるに えーる」の「春崎野乃花」を「もおか「いちご」チアリーダー」に任命し、アニメに関心を持つ若年層に向けて、市の知名度向上を強化していくこととなった。 平成30年4月のシティプロモーション係が新設され、本事業を専属的に遂行できるようになった。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	「日本一のいちごのまち もおか」を発信し続け、知名度や、地域ブランドを一層高めてもらいたい。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 交流人口を増やすことが目的であり、観光や商業の振興また、移住者の増加にも結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 本市を知ってもらうために情報発信は必須である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 首都圏等へ情報発信することで、交流人口や移住希望者の増加に結びつける。 また、イメージキャラクターはイメージアップに有効な手段である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 様々な情報発信ツールを活用し、統一感を持って効果的に本市の魅力をもPRする必要がある。 シティブロモーションを推進していくため、更なる情報発信の強化を図る必要がある。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 本市を認知してもらう情報発信の手段がなくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最低限の制作・放送費用等であり、削減の余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 番組制作等に必要最小限の人件費であり、削減できない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 特定の人の受益はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続 統一感を持ったPRを継続し、効果的に本市のPRをすることが必要である	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？ 全国いちごサミット開催を機に、アフターサミットとしてイベントを開催し、その後もいちごフェスタとして開催していくことで、効果的に「日本一のいちごのまち」をPRできる																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える																								
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							